

## 第38期(平成26年6月期)第2四半期決算説明会資料

---

株式会社ユビテック  
代表取締役 荻野 司  
(JASDAQ 6662)

本日ご説明申し上げる情報のうち、業界の動向や分析、当社の計画・見直し・戦略等につきましては、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となる可能性がございますことをご了承下さい。

なお本資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

## ● 会社概要

**次世代ユビキタス技術の創造に挑戦**

**技術と顧客志向**

## ユビテック プロフィール

- 1977年11月 会社設立
- 1986年9月 **新日本製鐵(株)(現:新日鐵住金株)**の子会社となる
- 1993年4月 液晶プロジェクター用**映像エンジン**の開発
- 1998年4月 **ATM**(現金自動支払機)、両替機用検知ユニットの開発
- 1999年4月 液晶テレビ用映像エンジンの開発
- 2002年4月 (株)インターネット総合研究所の100%子会社となる
- 2004年7月 タウ技研(株)から(株)IRIユビテックへと社名変更
- 2004年9月 **パナソニック電工(株)(現:パナソニック(株))**資本参加
- 2004年11月 **三井物産(株)**資本参加
- 2004年10月 ISO14001・9001認証同時取得
- 2005年6月 **大証ヘラクレス市場に上場 (証券コード:6662)**
- 2006年8月 (株)ユビテックソリューションズ(旧(株)日本エンジニアリングシステム)を子会社化
- 2007年4月 ベトナムに「Ubiteq Solutions Vietnam, Ltd.」設立
- 2007年11月 **オリックス(株)**のグループ会社となる
- 2007年12月 (株)IRIユビテックから**(株)ユビテック**へと社名変更  
パナソニック電工(株)(現:パナソニック(株))資本提携発表(第二位大株主へ)
- 2008年9月 オリックス自動車(株)カーシェアリングサービス「ブチレンタ」用車載システムを開発。
- 2008年11月 オフィス向けインターネットと設備制御の統合ゲートウェイ「BX-Office」を開発
- 2009年12月 ネットワンパートナーズ(株)から**シスコ合同会社のルータ**と当社のBX-Officeシリーズを組み合わせた**CFMS by BX-Office販売**  
**オリックス(株)**の直接子会社となる
- 2010年6月 **SaaS型省エネサービス**「Ubiteq Green Service(UGS)」(現「BE GREEN Next(BGN)」)の提供開始
- 2011年2月 **キヤノン Sタワー**にUGS (現「BGN」)を導入
- 2011年6月 「Interop Tokyo 2011 Best of Show Award」でUGS (現「BGN」)が**特別賞**を受賞
- 2011年9月 **大塚商会本社**にUGS (現「BGN」)を導入
- 2011年10月 「グリーンITアワード2011」でUGS (現「BGN」)が**経済産業省商務情報政策局長賞**を受賞
- 2011年12月 **日本マイクロソフト本社オフィス**にUGS (現「BGN」)を導入
- 2012年6月 オリックス所有ショッピングセンター「**クロスガーデン多摩**」にUGS (現「BGN」)を導入
- 2012年9月 「賢い企業のスマート節電ガイドブック」出版
- 2012年12月 「第7回ファシリティマネジメント大賞」でUGS (現「BGN」)が**技術賞**を受賞
- 2013年1月 「平成24年度省エネ大賞」でUGS (現「BGN」)が**省エネルギーセンター会長賞**を受賞
- 2013年9月 **東京大学I-REF棟**にBE GREEN Nextを導入
- 2013年10月 **クラウド型ビデオ会議サービス**「CanSee Powered by Vidyo」発売
- 2014年2月 **車両運行管理・ドライバー支援サービス**「Be Safe」シリーズを開発

## 荻野 司 プロフィール

1986年キヤノン(株)入社。中央研究所を経て、ハードウェア及びソフトウェア設計等、新製品の開発に携わる。その後、ISP事業開始のため1996年ファストネット(株)へ出向。1999年同社取締役役に就任。2000年(株)インターネット総合研究所(以下、IRI)執行役員に就任。同年(株)インターネットシーアンドオー代表取締役社長に就任し、キヤノングループやNTTファミリー企業とジョイントベンチャーによるMSP(Managed Service Provider)事業を起業する。

2000年から(社)日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)のIP担当理事を務め、日本におけるインターネットの普及と基盤整備に尽力。また、IPv6普及・高度化推進協議会には設立時より参画し常務理事を務めIPv6普及の啓蒙活動にも注力。2002年にIRI取締役役に就任し、同年、ユビキタス時代におけるネットワーク、コンピュータとの融合技術を中心とした研究・開発組織、ユビキタス研究所を設立。また、IPv6・センサネットワークキングコンソーシアム 運営委員を務め、non-PCや施設管理におけるインターネット利用など、次世代インターネットプロトコルIPv6を基軸としたインターネット高度利用研究にも注力。

2003年9月に(株)ユビテック代表取締役社長に就任し、2005年6月には大阪証券取引所ヘラクレススタンダードに同社の上場を果たす。(証券コード6662)

また、2005年からは、ワイヤレスブロードバンド推進協議会の発起人も務め、WiMAXを中心とする次世代インターネット技術の普及や啓蒙活動に注力する一方、現在は、ファシリティ分野におけるIT活用のための活動として、東京大学におけるグリーンITプロジェクトに参画。ITを用いた「やりたくなる省エネ」の実現に注力している。

静岡大学創造科学技術大学院 客員教授(2004年-2009年)、同大学院アドバイザー(現)も務める。

# 役員構成

<b>明石直人(常務取締役)</b> *常勤	(株)富士銀行(現 (株)みずほ銀行)等を経て平成16年2月当社入社
<b>白木道人(取締役)</b> *常勤	キヤノン(株)を経て、平成16年7月当社入社
<b>野方孝之(取締役)</b> *常勤	(株)日本債券信用銀行(現 (株)あおぞら銀行)、三洋電機(株)等を経て、平成18年6月当社入社
<b>徳田英幸(社外取締役)</b>	カーネギーメロン大学 計算機学科を経て慶応義塾大学 政策・メディア研究科委員長
<b>江崎浩(社外取締役)</b>	(株)東芝 総合研究所、ベルコア社、コロンビア大学CTRを経て東京大学 大学院教授
<b>小島一雄(社外取締役)</b>	オリックス(株)執行役不動産ファイナンス本部長などを経て、取締役兼専務執行役
<b>錦織雄一(社外取締役)</b>	(株)日本興業銀行(現 (株)みずほ銀行)を経てオリックス(株)執行役事業投資本部長
<b>林雅弘(取締役)</b> *非常勤	日本アイ・ビー・エム(株)、(株)デロイトトーマツコンサルティング(現アビームコンサルティング)、等を経て (株)日本エンジニアリングシステム(現(株)ユビテックソリューションズ)代表取締役社長
<b>平田満(監査役)</b> *常勤	新日本製鐵住金(株)、当社取締役を経て、平成24年9月当社監査役就任
<b>小林稔忠(社外監査役)</b>	東京証券取引所、日本勧業角丸証券(現 みずほ証券)公開引受部長、 (株)日本ソフトバンク(現 ソフトバンク(株))常務取締役を経て平成15年9月当社監査役就任
<b>与謝野 肇(社外監査役)</b>	(株)日本興業銀行(現 (株)みずほ銀行)、興銀インベストメント(株) 取締役社長、みずほキャピタル(株) 専務取締役を経て平成16年9月当社監査役就任
<b>高橋通(社外監査役)</b>	キヤノンカメラ(株)、キヤノン(株) 取締役、Canon USA Inc. Executive Vice President & CTO, Canon Development Americas Inc. President &CEO を経て平成18年9月当社監査役就任

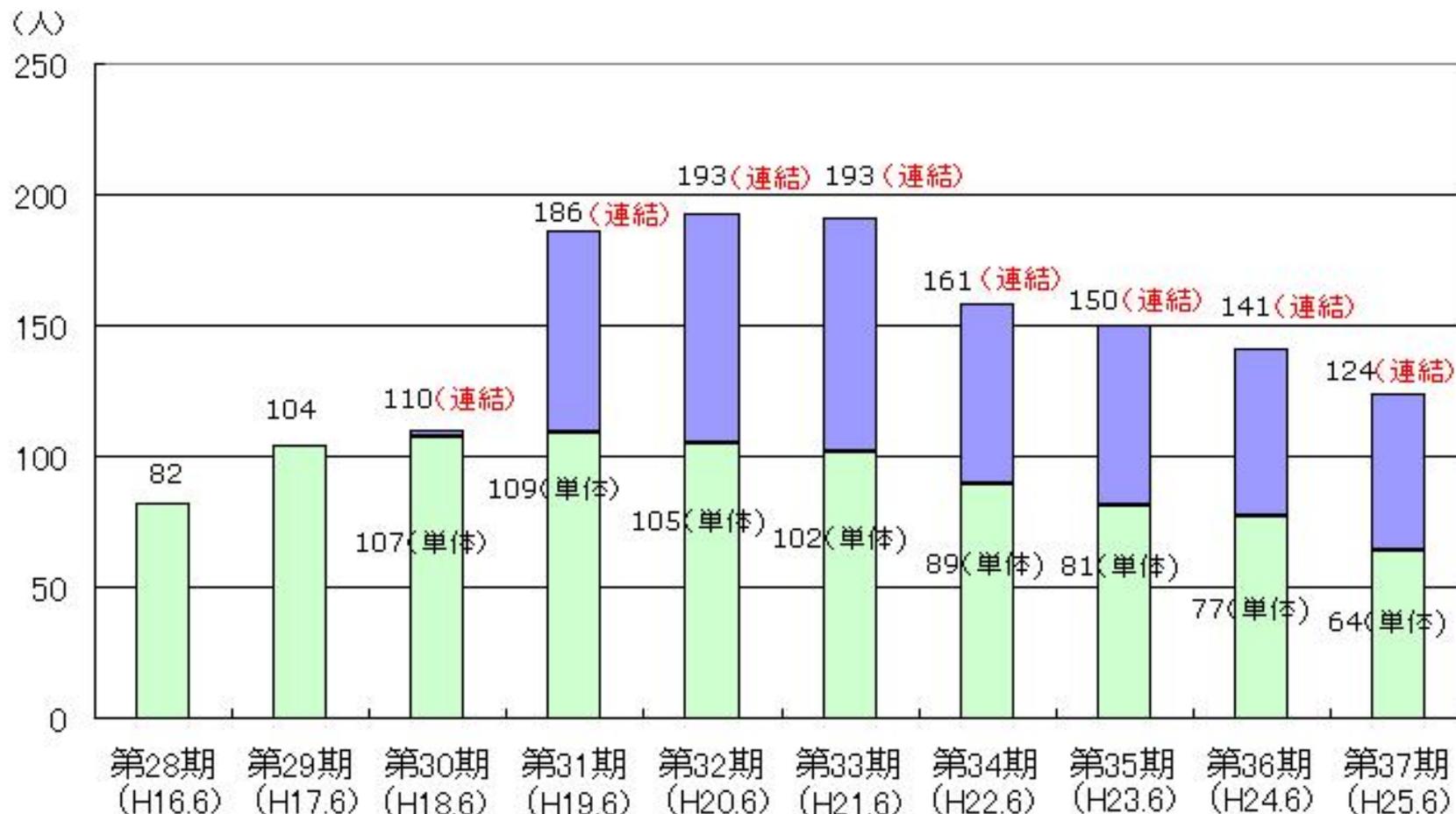
# 事業セグメントと主な事業内容

事業名称	主な事業内容	キーワード
電子機器事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ATM(オートテラマシーン)に内蔵されている主要モジュールシステム 開発・生產業務</li> <li>● カーシェアリング車載システム等のサーバーと端末のセットソリューションサービスの開発・生產業務</li> <li>● テレマティクスサービスのサーバーと端末のセットソリューションの開発・生產業務</li> <li>● ハードウェア設計、ファームウェア設計、量産化設計から生産までを一貫して実施</li> <li>● 上記テクノロジーを融合させた新技術の開発業務</li> </ul>	<p>センサーモジュール</p> <p>カーシェアリング</p> <p>テレマティクスサービス</p> <p>カラオケ端末</p>
モバイル・ユビキタス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 省エネ対応ソリューション開発</li> <li>● 携帯電話端末評価業務</li> <li>● IPネットワーク(有線・無線)設計・構築・運用支援業務</li> <li>● 次世代ネットワーキングテクノロジー「IPv6」に関する技術開発業務</li> <li>● Web2.0テクノロジーを活用したWeb2.0ソリューション事業</li> <li>● 組み込み型ソフトウェアの受託開発およびシステム開発等の人材派遣</li> <li>● ビデオ会議サービスの提供</li> <li>● 会議室管理サービス開発</li> </ul>	<p>省エネ</p> <p>ユーザーエクスペリエンス</p> <p>IPv6</p> <p>SNS、マッシュアップGIS 金融システム、医療システム</p> <p>ビデオ会議</p> <p>会議室管理</p>

# 株主構成

(2013.12.31現在)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
オリックス株式会社	85,272	58.74
パナソニック株式会社	14,400	9.92
荻野 司	3,449	2.38
株式会社SBI証券	2,553	1.76
その他	39,498	27.20
合計	145,172	100.00



注) 出向者、派遣、アルバイトスタッフなどは除いた人数となっております。

- 当社業績について

# 過去業績推移



売上高

営業利益



※第30期(H18/6)より連結開始

## 業績トピックス

第30期: WiMAX支援事業により大幅増収増益。

第31期: WiMAX支援事業大幅減少するも、センサー事業(ATM等)・映像事業(UBIRIS)好調で売上高ほぼ横ばい。

第32期: センサー事業大幅減少により前期比大幅減収減益。

第33期: モバイル事業・UBIRIS受注が減少したが、パナソニック電工からの受注増加、オリックス自動車向けカーシェア車載機販売開始により営業利益前期比微増。

第34期: モバイル事業、子会社の受注減及び電子機器既存量産品が減収となるも、コスト削減及び自社開発製品で営業利益は前期比微増

第35期: 電子機器事業は、生体認証モジュールや紙幣鑑別ユニット等のセンシングモジュールの需要回復による受注が増加し、オリックス自動車向けカーシェア車載機が堅調に推移。UGSも拡販中。

第36期: センサー及びカーソリューション事業、子会社は堅調に推移したものの、携帯電話の評価業務や総務省(国プロ)からの受注が減少。

第37期: センサー事業は前期比売上微減、カーソリューション事業は横ばい。携帯電話の評価業務の売上減少。

# 第37期(平成25年6月期)通期決算概要

(単位:百万円)	第37期(H25.6)売上	前年同期売上実績	前年比(増減)	前年比(%)	第37期(H25.6)営業利益	前年営業利益実績	前年比(増減)	前年比(%)
電子機器事業	2,178	2,324	△146	△6.3	409	496	△86	△17.5
モバイル・ユビキタス事業	1,135	1,291	△156	△12.1	5	9	△4	△47.2
共通費	—	—	—	—	△313	△319	6	△1.8
合計	3,313	3,615	△302	△8.4	101	186	△85	△45.4

## ■セグメント別トピック

### 電子機器事業

- ・紙幣鑑別ユニット等のATM向けセンシングモジュールが中国問題の影響を受け前期比微減
- ・カーソリューション事業は前期並みの売上
- ・新機種開発投資継続中
- ・仕入コストや外部委託費用については削減を継続

### モバイル・ユビキタス事業

- ・子会社のユビテックソリューションズは堅調に推移
- ・携帯電話の評価業務については売上減少
- ・BE GREEN Next(旧UGS)は売上貢献には至っていないが、第7回ファシリティマネジメント大賞「技術賞」および、平成24年度省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」を受賞し、拡販活動中

# 第38期(平成26年6月期)第2四半期決算概要 **UBITEQ** UBIQUITOUS TECHNOLOGY

(単位:百万円)	第38期2Q (H25.12) 売上	前年同期 売上実績	前年比 (増減)	前年比 (%)	第38期2Q (H25.12) 営業利益	前年同期 営業利益 実績	前年比 (増減)	前年比 (%)
電子機器事業	915	809	106	13.2	95	84	11	14.1
モバイル・ユビキタ ス事業	517	527	△9	△2.0	△26	△16	△9	—
共通費	—	—	—	—	△151	△150	△0	—
合計	1,433	1,336	76	7.2	△82	△83	0	—

## ■セグメント別トピック

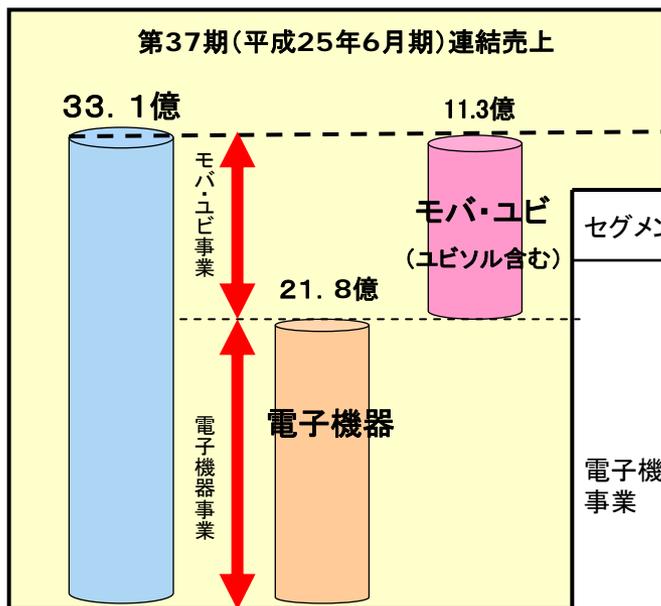
### 電子機器事業

- ・紙幣鑑別ユニット等のATM向けセンシングモジュール堅調に推移
- ・カラオケ端末「JOYSOUND FESTA」量産開始
- ・カーソリューション事業は前年同四半期比売上減少だが、新サービス「Be Safe」シリーズ開発
- ・仕入コストや外部委託費用については削減を継続

### モバイル・ユビキタス事業

- ・子会社のユビテックソリューションズは売上減少
- ・携帯電話の評価業務については売上減少だが、昨年より評価サービスの対象を拡大中。
- ・クラウド型ビデオ会議サービス「CanSee」Powered by Vidyo、会議室管理サービス「ルームコンシェル」の営業開始。  
省エネソリューション「BE GREEN Next」との連携も。

# ユビテック事業一覧(セグメント別)



セグメント		現在	将来
電子機器事業	画像 (センシング)	【顧客】日立オムロンターミナルソリューションズ、他 【製品】スキャナセンサ、セキュリティモジュール、医療系センサモジュール	【展開】同業他社へ横展開 【製品】各種モジュールとネットワークの融合製品開発
	カーソリューション	【顧客】オリックス自動車 【製品】カーシェアリング用車載端末システム、テレマティクスサービス	【展開】カーソリューション関連サービスへ 【製品】ユビキタス車載端末
	その他	【顧客】エクシング 【製品】カラオケ関連端末	【展開】機器メーカーへ 【製品】高速化、高精細化
モバイル・ユビキタス事業	モバイル	【顧客】ソフトバンクモバイル 【サービス】携帯電話端末総合評価	【展開】携帯電話キャリアへ 【サービス】Android評価
	ユビキタス	【顧客】ジャパンケーブルキャスト、日本医師会、総務省、IPA 他 【サービス】ネットワークおよびインフラの設計と構築、省エネソリューション、会議室管理、ビデオ会議サービス	【展開】CATV、住宅・不動産産業、テナントオフィスへ 【サービス】次世代ネットワーク、Web2.0、省エネ、会議室管理
子会社	ユビテックソリューションズ (ユビソル)	【顧客】日本電子、明治安田システムテクノロジー、ベックマン・コールター 【サービス】機器組込みソフトウェア開発、業務用アプリケーション開発	【展開】医療、通信メーカーへ 【サービス】機器組込みソフトウェア開発、業務用アプリケーション開発

# 貸借対照表(B/S)サマリー推移

(単位:百万円)		第34期	第35期	第36期	第37期	第38期2Q
流動資産		3,519	3,834	3,897	4,024	3,602
	うち現金及び預金	2,273	2,801	2,584	2,494	2,493
	うち受取手形及び売掛金	1,003	835	1,184	1,388	798
固定資産		312	241	226	216	205
	うち有形固定資産	83	76	75	77	65
	うち無形固定資産	32	16	14	13	15
	うち投資その他資産	196	148	137	125	124
資産合計		3,832	4,076	4,124	4,241	3,807
流動負債		643	695	673	735	398
	うち支払手形及び買掛金	441	417	480	558	300
	うち短期借入金	—	—	—	—	—
固定負債		66	61	58	47	52
	うち長期借入金、社債等	—	—	—	—	—
負債合計		709	757	731	783	450
資本金		860	877	880	882	887
純資産合計		3,122	3,318	3,392	3,457	3,357

現預金は潤沢

借り入れゼロ

自己資本比率86.2%。高水準を維持。

# キャッシュ・フロー(C/F)サマリー

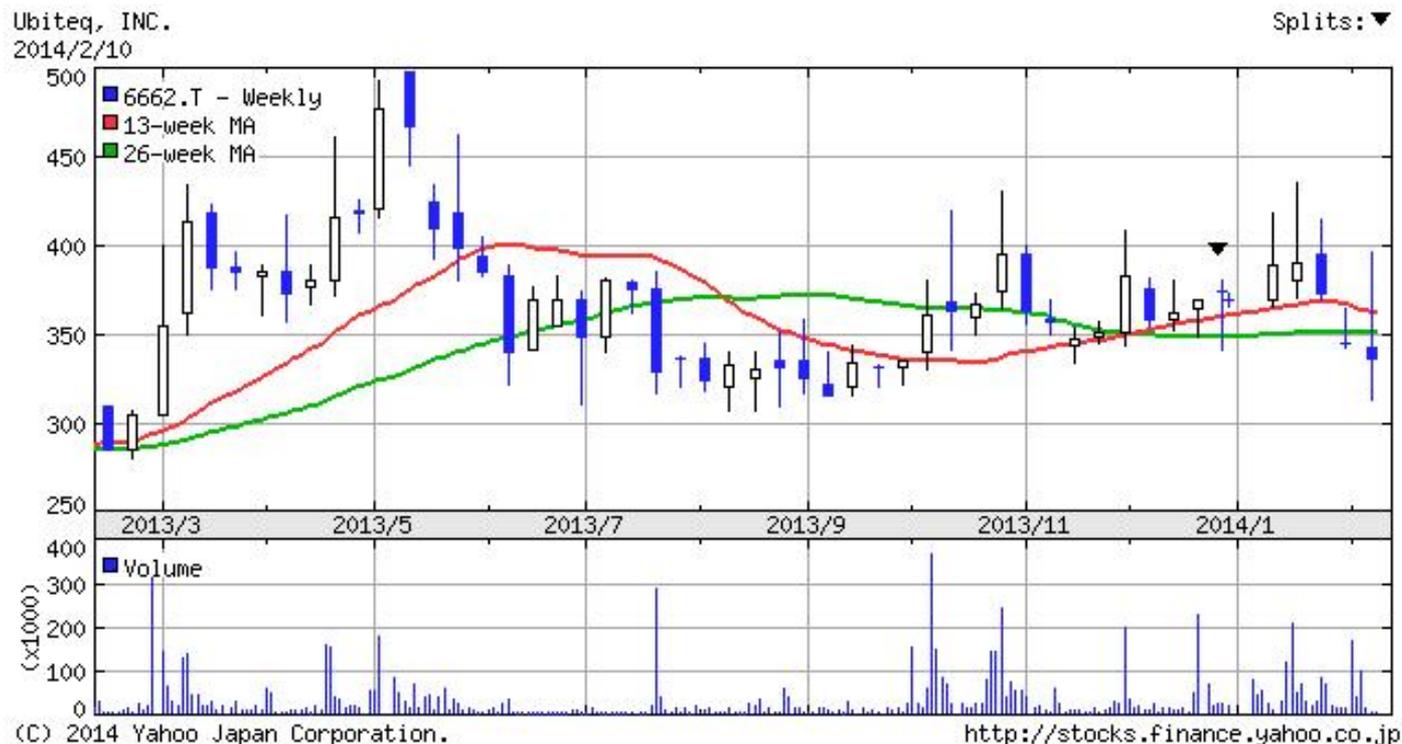
(単位: 百万円)	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	419	531	△160	△55	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42	△1,040	△35	△616	193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20	△3	△36	△40	△45
現金及び現金同等物の増減額	354	△522	△236	△692	198
現金及び現金同等物の期首残高	1,876	2,193	1,671	1,434	742
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,193	1,671	1,434	742	940

他に長期運用  
定期預金残高  
約15億円有

## 38期 (2013年7月 ~ 2014年1月)

2014/01/31	ユビテック、環境省のCO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業に採択 ～EV・小型EV向け地域交通共同利用プラットフォームを開発・実証～
2014/01/28	Vidyo会議システムソリューション導入事例 ～ホメオパシック・エデュケーション社の遠隔講義で活用～
2014/01/24	クルマとITを融合させた新シリーズ「Be Safe」サービス開始 ～安全/エコ/コンプラ強化に導入容易な運行管理・ドライバー支援～
2014/01/08	金沢で「セキュアなITが創るつながる新産業創出セミナー」を開催 ～当社社長荻野司が組み込みセキュリティについて講演
2013/12/11	「BE GREEN Next Home(HEMS)」学習型赤外線リモコンに対応～家電の消し忘れをリモートで制御可能に～
2013/12/03	評価事業、サービスメニューをスマートフォン以外にも拡大 ～多様な情報機器からWebサービスまで幅広い評価ニーズに対応～
2013/11/28	エクシング社の旅館・ホテル、エルダー市場向けカラオケシステム「JOYSOUND FESTA」の開発に協力
2013/11/07	ユビテック、中小組み込みシステム企業のセキュリティ対策推進に係る調査を受託、中部地域で「つながるモノづくり・セキュリティセミナー」を開催
2013/10/23	次世代のクラウド型ビデオ会議サービス「CanSee」Powered by Vidyoを発売～Vidyo社と販売代理店契約締結～
2013/10/01	ユビテック、クラウド型会議室管理サービス「ルームコンシェル」発売 ～利用状況の見える化により、効率的な会議室管理を実現～
2013/09/27	東京大学I-REF棟にBE GREEN Next導入、ビルのスマート化に貢献 ～東京大学より感謝状授与～
2013/09/20	ユビテック協賛「Live E! プロジェクト第2回サイエンスコンテスト」開催 ～ユビテックが協賛した環境情報の有効活用コンテスト結果発表～
2013/07/30	ユビテックを幹事とするBEMSアグリゲータ・コンソーシアムが「スマートBEMS」を販売 ～BEMS導入向け補助金により、国が設備費1/2、工事費1/3を補助～
2013/07/08	ユビテック、「沖縄セキュリティ&テスト検証センター」を設立 ～沖縄の立地条件を活かしたモバイル機器検証サービスを展開～

(2014/2/10までのチャート)



2005年12月20日	1株→2株の株式分割
2006年2月20日	立会外分売 827株
2006年4月7日	ブロックトレード 500株
2006年10月3日・5日	ブロックトレード 2,500株
2007年2月23日	自己株式取得完了(買付株式数:350株 買付総額:75,474,000円)
2009年4月1日	1株→4株の株式分割
2014年1月1日	1株→100株の株式分割

## 1株当たり配当金

平成24年6月期配当実績	300円
平成25年6月期配当実績	300円
平成26年6月期配当予想	3円

※平成26年1月1日付 1株を100株に分割

配当利回り 0.88% (平成26年2月10日 株価:340円)

配当性向 48.5% (平成25年6月期)

### 【基本方針】

下記2点をバランスを取りながら実施

- ①企業価値の最大化に向けた内部留保の確保  
→事業拡大、成長投資(人材への投資、設備投資等)
- ②株主の皆様への還元

## ● 当社事業概要

## UBITEQ BE GREEN



### UBITEQ ECO PROJECT

■ユビテックは、地球環境保全に向け、企業の課題を解決する新環境ソリューション「UBITEQ BEGREEN SOLUTION」の提供を通じ環境に優しい持続可能な社会(循環型社会)作りに貢献していきます。

■当社のユビキタス技術を駆使し、「自然に出来てしまう、やりたくなる省エネ」の実現を支援します。

当社製品を活用した「省エネ・CO2削減」「安心・安全」「業務効率化」環境を実現する「UBITEQ ECO PROJECT」活動を全社的に推進しております。

#### ●UBITEQ BE GREEN SOLUTION製品

##### ●BE GREEN Next製品

- Ubiteq G-Service
- Ubiteq G-Server
- CFMS-II

##### ●カーソリューション製品

- カーシェアリング車載機
- テレマティクスサービス
- 車両運行管理・ドライバー支援サービス「Be Safe」シリーズ

##### ●会議室ソリューション製品

- 会議室管理サービス「ルームコンシェル」
- ビデオ会議サービス「CanSee」Powered by Vidyo

BE GREEN Next は、Ubiteq Green Service(UGS)の後継製品です。

# カーソリューション事業(UCIS事業)

※ UCIS ⇒ Ubiteq Car Information System

# カーソリューション事業の歩み

2008

2009

2014

カーシェアリング：車載端末（車種限定）



テレマティクスサービス：  
車載端末（国産普通車対応）  
+サーバ/WEB=システム全ての提供を実現



オリックス自動車様WEBサイト



EVエコドライブシステム開発・実証



「Be Safe」シリーズ：  
クルマとITを融合させた新しい  
車両運行管理・ドライバー支援  
2014年3月よりサービス開始

グリーンICT  
プラットフォーム

## 交通安全のための国の取組み

交通事故厳罰化  
(改正案閣議決定)

ASV(先進安全  
自動車)の開発

ISO39001  
(道路交通安全  
マネジメントシステム)

長時間運転

速度超過・急加速

燃費・アイドリング

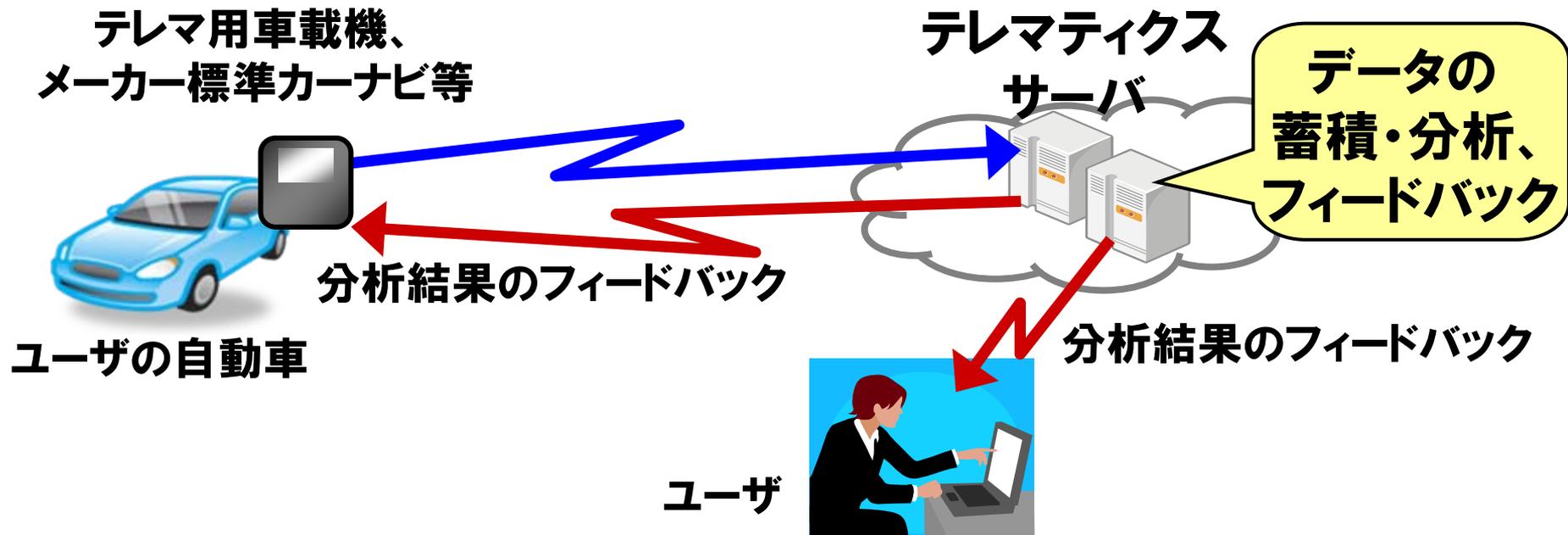
現在地・稼働状況

  **安全**

 **環境**

 **コスト**

- テレコミュニケーション（Telecommunication=通信）とインフォマティクス（Informatics=情報工学）から作られた造語で、移動体に携帯電話などの移動体通信システムを利用してサービスを提供することの総称。
- クラウド活用で、テレマティクスビジネスがより容易に。

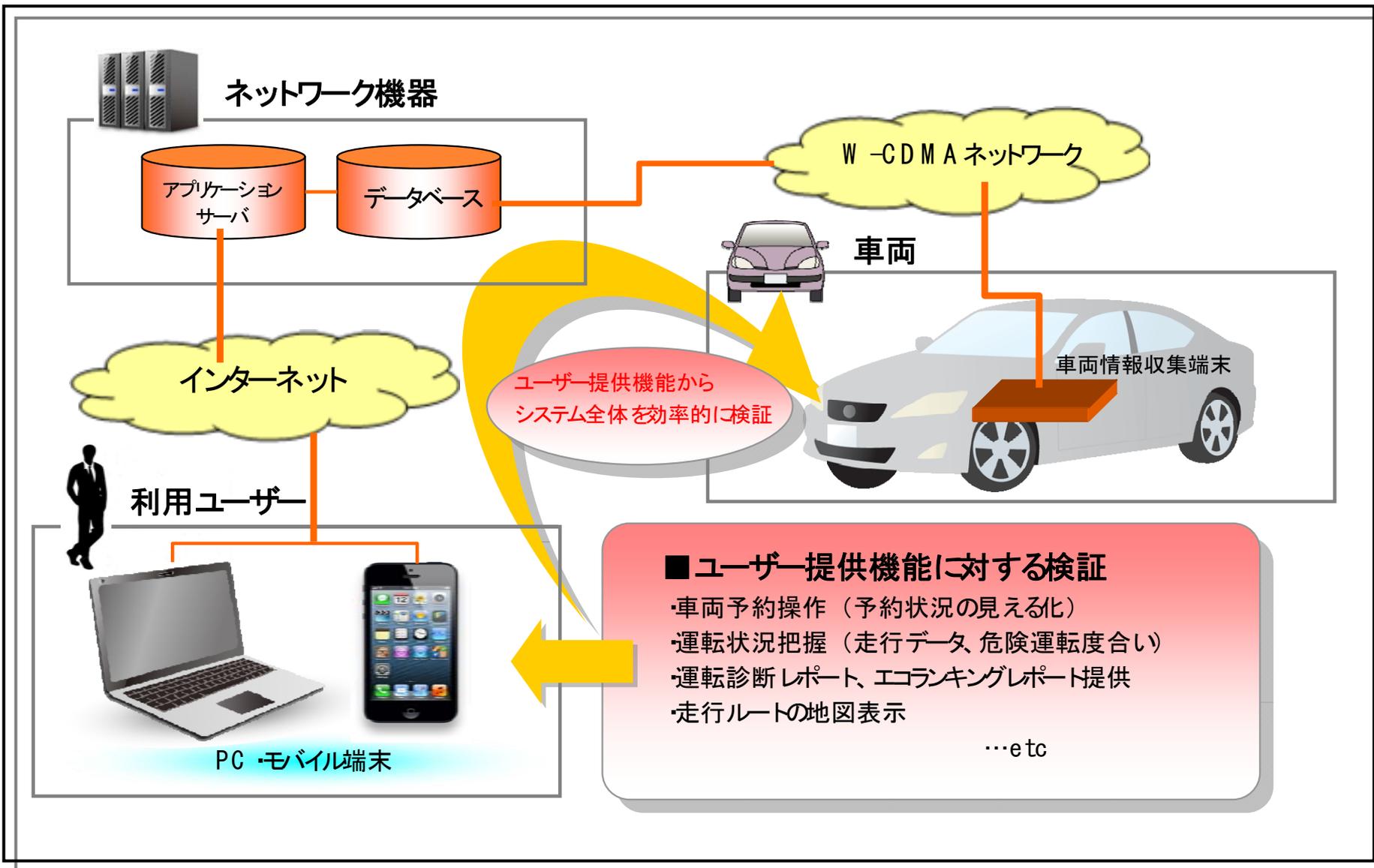


# 自動運行管理サービス

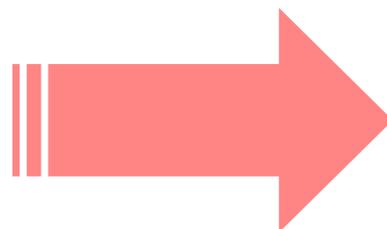
**Be Safe**

**Ubiteq telematics service**

株式会社ユビテック  
(JASDAQ 6662)



①メーカー、年式、車種  
毎に対応が必須



③データベース化  
→クラウド利用



・国内外 ガソリン/HV車対応  
・約3000種類以上あり  
→Thin client

④デバイスフリー  
→クラウド&HTML

②簡単取り付け  
→水平分業(製造委託)



- イベントが発生するとメールで通知します。  
メールに記載されたURLからイベントの発生地点、日時を  
地図表示できます。

## ■車両管理者様

車両ID1000で速度超過を検出しました。

発生地点の地図は、以下のURLから閲覧  
できます。

[http://cloudgis.ubiteq.co.jp  
/Spatial\\_Gatewax/xxxxxx](http://cloudgis.ubiteq.co.jp/Spatial_Gatewax/xxxxxx)



## ■ 運転日報

1日の運転日報を表示します。

## ● 画面構成

- ・全体情報
- ・安全性指標
  - －運転の安全性指標をグラフ表示します。
- ・走行マップ
  - －1日の走行ルートを地図表示します。
- ・トリップ一覧
  - －1日のトリップ一覧を表示します。

Be Safe・運転日報

UBITEQ UBIQUITOUS TECHNOLOGY

The screenshot displays the 'Be Safe・運転日報' interface. It is divided into several sections:

- 全体情報 (Overall Information):** A table showing driving statistics for 2013年12月3日.
 

項目	内容	項目	内容
運行日	2013年12月3日	車両	008
所属部署	ナフバー		1111111
急加速回数			12
速度超過回数	0	長アブレック	0
消費燃料	-	平均燃費	-
- 安全性指標 (Safety Indicators):** A graph titled 'エコドライブ' showing acceleration and deceleration patterns. The graph indicates that maximum acceleration and deceleration are within safe limits.
- 走行マップ (Driving Map):** A map showing the driving route in the Tokyo area, with a red car icon indicating the current location.
- トリップ一覧 (Trip List):** A table listing individual trips for the day.
 

番号	ドライバ	開始	終了	走行時間	走行距離	行き先	行き先住所	最大加速度	最大減速度	消費燃料	平均燃費	備考
1	仲谷武志	08:15:17	09:00:55	0:45:38	23.50	SW	千葉県船橋市真見6丁目5-10	0.89	2.61	-	-	
2	仲谷武志	12:12:09	12:29:40	0:14:50		行き先?	千葉県習志野市真見6丁目20-1	0.41	0.74	-	-	
3	仲谷武志	12:55:14	13:02:29	0:7:15	2.60	行き先!	千葉県習志野市普浜1丁目1 県道15号線	0.29	0.34	-	-	
4		13:34:51	22:14:24	0:52:52	31.10		35.63736 139.788042	0.66	2.39	-	-	

## ■ 予約登録

車両の利用予約を登録します。

## ● 画面構成

・車両情報

・予約登録

一車両の予約を登録します。  
利用時間、利用者、行き先  
などを登録します。

・行き先マップ

一行き先を地図から選択し  
設定できます。

Be Safe・車両予約

UBITEQ

予約車両情報

所属部署	車両ID	駐車場	車種	ナンバー	車両タイプ
				1111111	0

行き先登録

NO.	予約日	開始時刻	終了時刻	ドライバ	備考	操作	行き先	行き先住所
1	2014/1/31					予約登録 選び直す	東京大学柏	千葉県柏市柏の葉6-1-5

行き先マップ

## ■ 車両登録

車両情報を登録します。

## ● 画面構成

### ・検索条件

一車両を検索する条件を設定します。

### ・車両登録

一車両の情報を登録します。  
車両ID、ナンバー、型式などを登録します。

### ・型式設定

一頭文字3文字で候補を表示し、型式の設定を支援します。

Be Safe/Standard おはようございます、nakatani 様 [ログアウト](#) 

管理トップ(登録状況) [乗客登録・修正](#) [利用者登録・修正](#) [車両登録・修正](#) [車載機登録・修正](#) [行き先登録・修正](#)

クリア	車両ID	ナンバー	メーカー	車種名	型式	検索
↑上記検索入力フィールドに値を入力して検索してください。 ↓または、下記に新規車両情報を入力して保存してください						
	車両ID	ナンバー	型式/メーカー/車種名 ↓3文字以上の入力で検索結果が表示 されます ヘルプ・例はこちらをクリック!	アクティベート	詳細設定	
1	0001		カローラ	<input type="radio"/> する	<a href="#">詳細入力画面へ</a>	
2			DBA-NZE120, トヨタ, 04/02-06/10, カローラ 1.3L(2WD)			
3			DBA-NZE121, トヨタ, 04/02-04/12, カローラ 1.5L(2WD)			
4			DBA-NZE121, トヨタ, 04/02-04/12, カローラランクス(1500cc)(2WD)			
5			DBA-NZE121, トヨタ, 04/02-04/12, カローラランクス(1500cc)(2WD)			
			DBA-NZE121G, トヨタ, 04/02-04/12, カローラフィールダー(1500cc)(2WD)			
			DBA-NZE121G, トヨタ, 04/02-04/12, カローラフィールダー(1500cc)(2WD)			
			DBA-NZE121N, トヨタ, 04/02-07/06, カローラス/シオ(1500cc)(2WD)			
			DBA-NZE121N, トヨタ, 04/02-07/06, カローラス/シオ(1500cc)(2WD)			
			DBA-NZE124, トヨタ, 04/02-06/09, カローラランクス(1500cc)(4WD)			
			DBA-NZE124, トヨタ, 04/02-06/09, カローラランクス(1500cc)(4WD)			
			DBA-NZE124, トヨタ, 04/02-06/10, カローラ 1.5L(4WD)			
			DBA-NZE124, トヨタ, 04/02-06/10, カローラ 1.5L(4WD)			
			DBA-NZE124G, トヨタ, 04/02-06/10, カローラフィールダー(1500cc)(4WD)			
			DBA-NZE124G, トヨタ, 04/02-06/10, カローラフィールダー(1500cc)(4WD)			
			DBA-ZZE122, トヨタ, 04/02-06/09, カローラランクス(1800cc)(2WD)			

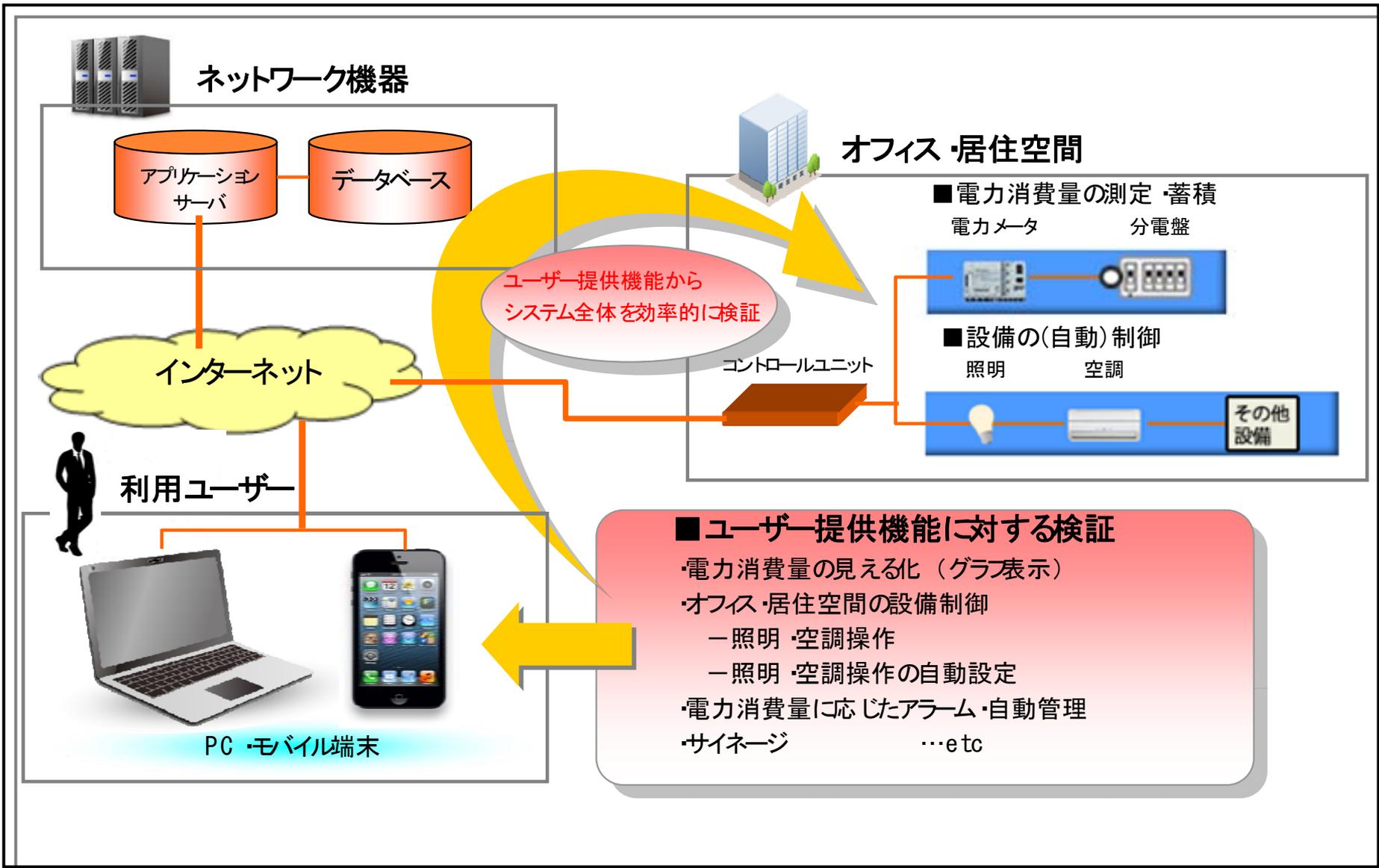
会議室管理サービス

ルームコンシェル  
Room-Concier(ge)

UBITEQ G-SERVER Cloud-Service

ご紹介資料

株式会社ユビテック  
(JASDAQ 6662)



## Interpol Tokyo 2011 Best of Show Award ソリューション & サービス部門 特別賞

- Ubiteq Green Service 出展ポイント
  - IPv6対応
  - 国際標準の通信規格であるIEEE1888を搭載し、LED電球やオフィス設備機器と接続させ、電力の見える化、自動制御
  - シスコのエネルギーソリューションである「Cisco® EnergyWise」機能に対応



**協賛企業**  
 キヤノン | ITソリューションズ (株)  
 クロスボー (株)  
 サンワコムシステムエンジニアリング (株)  
 ディーアイエスソリューション (株)  
 ネットワンパートナーズ (株)  
 日本マイクロソフト (株)  
 -特別協賛: LED照明提供-  
 (株)大塚商会

## 公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会主催 第7回ファシリティマネジメント大賞 技術賞

ファシリティマネジメント大賞は国内におけるFMの普及・発展を目的とし、FMに関する優れた業績及び功績のあった組織と個人を表彰しています。

「自社開発のITによる省エネシステムUbiteq Green Service (現: BE GREEN Next)を活用した省エネ活用事例」で、ファシリティマネジメントに関する新しい手法、技術の取り組みが行われている企業として「技術賞」を受賞いたしました。

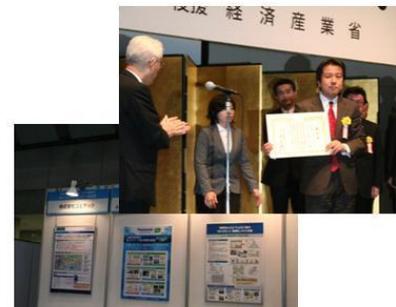


## グリーンIT推進協議会主催 グリーンITアワード2011 「ITによる社会の省エネ (by IT)」部門 経済産業省商務情報政策局長賞



グリーンITアワードは低炭素社会実現に貢献する優れた製品・活動に対して表彰を行う制度です。Ubiteq Green Serviceは「ITによる社会の省エネ (by IT)」に貢献したソリューションとして経済産業大臣賞に次いで優れたものと評価をいただき、経済産業省商務情報政策局長賞を受賞いたしました。

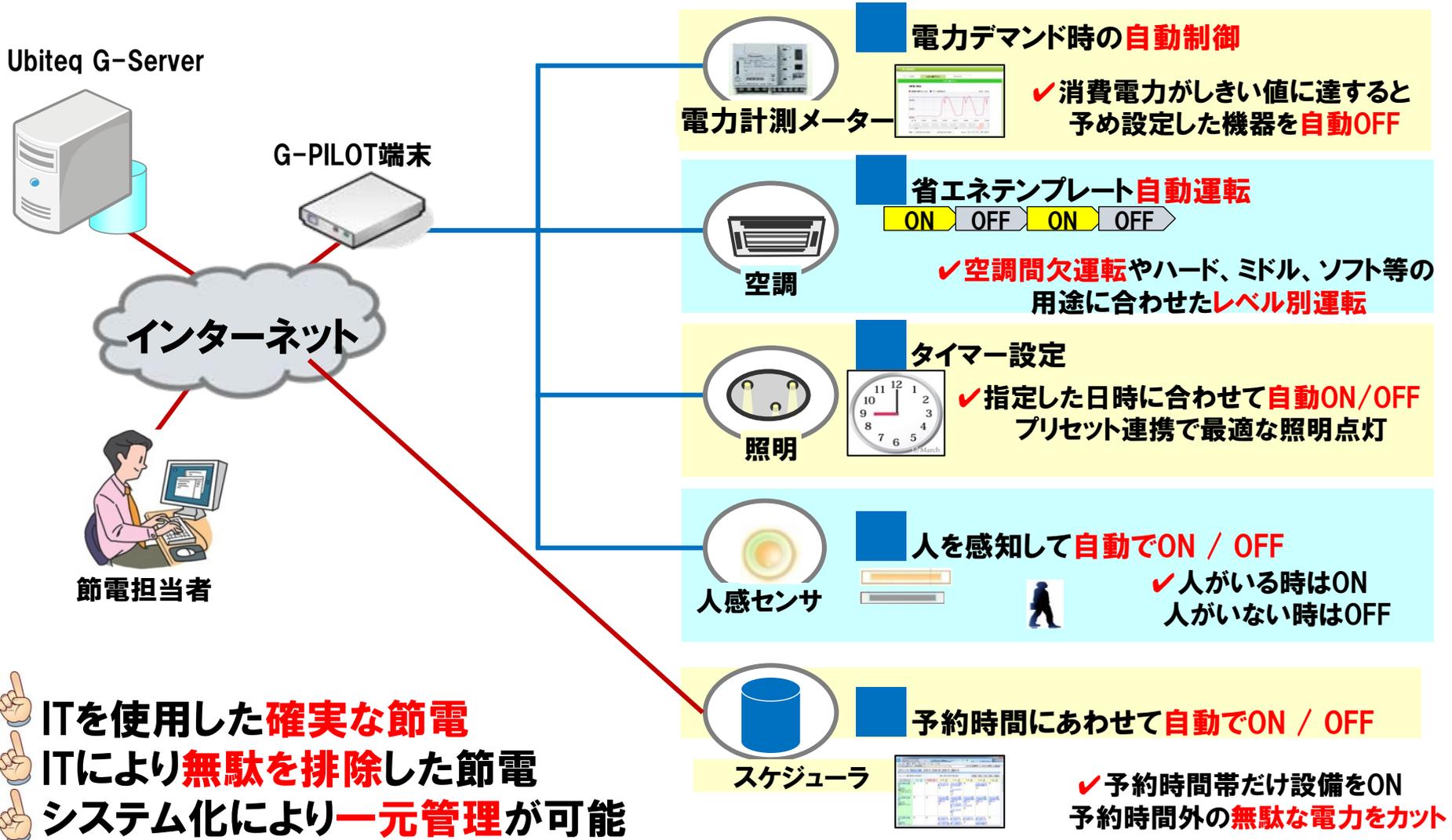
## 一般財団法人省エネルギーセンター主催 平成24年度省エネ大賞 「省エネ事例」部門 省エネルギーセンター会長賞



「省エネ大賞」は、日本国内の省エネルギーを推進している事業者及び省エネルギー性に優れた製品又はビジネスモデルを開発した事業者を対象とし、優れた省エネ活動事例や技術開発等による先進型省エネ製品を表彰し、省エネルギー意識の浸透、省エネルギー製品の普及促進等に寄与することを目的としています。

「省エネ事例部門」において、省エネ活動のピーク電力抑制・ピークシフト等の取組みを含めた、Ubiteq Green Service (現: BE GREEN Next) の機能と自社活用事例を紹介し、有効な省エネへの取組みが行われている企業として「省エネルギーセンター会長賞」を受賞いたしました。

# Not BEMS センサネットとクラウド



- 👉 ITを使用した**確実な節電**
- 👉 ITにより**無駄を排除した節電**
- 👉 システム化により**一元管理が可能**

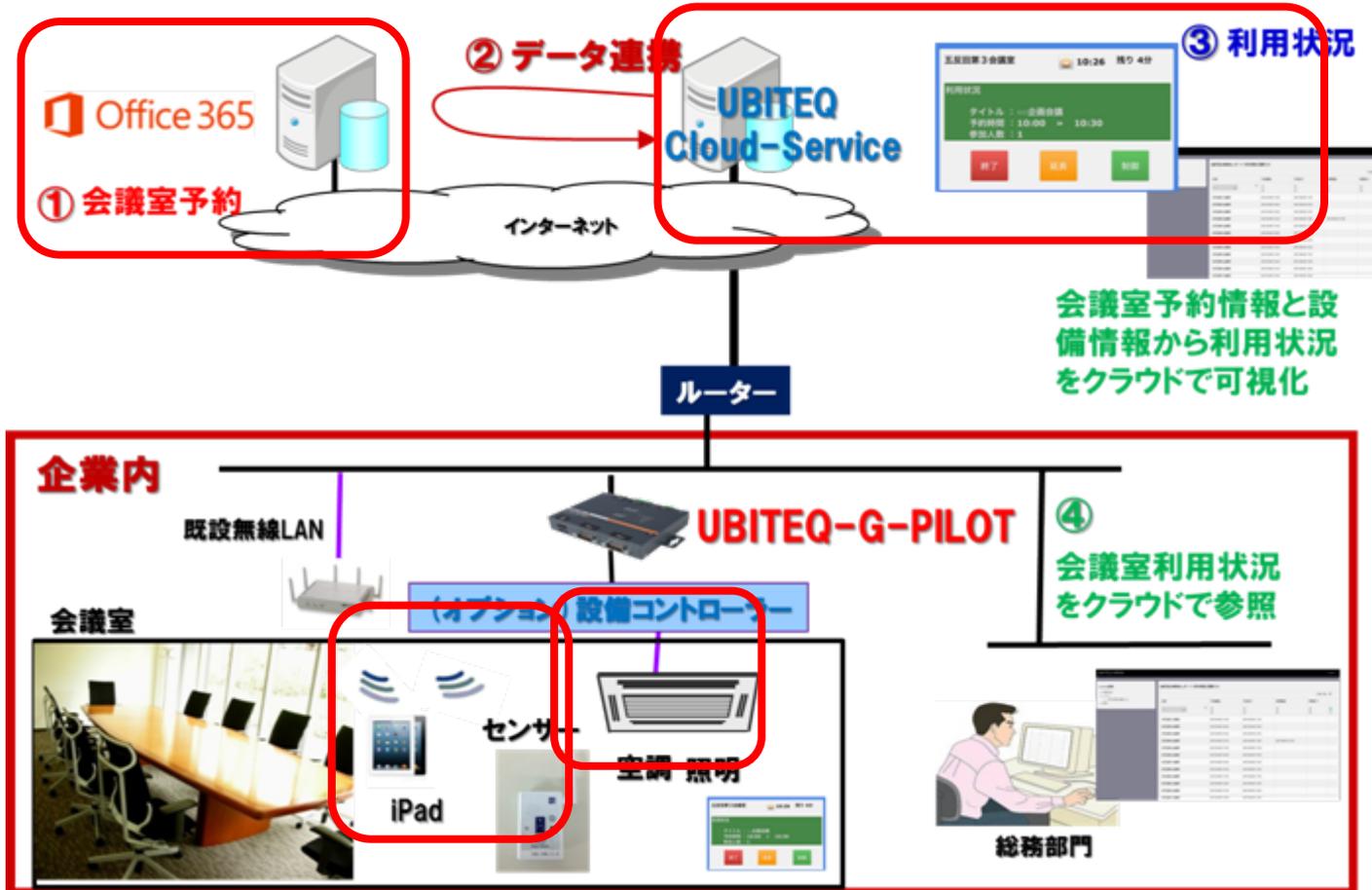
- 「BE GREEN Next」が、東京大学大学院情報理工学系研究科研究教育棟I-REF棟に導入され、2013年9月25日に行われた「新生I-REF棟記念式典」では、スマート・ビル竣工に貢献した企業として感謝状が授与されました。

I-REF棟は、BGNを活用した全館の用途別電力計測とリアルタイムの見える化および空調と照明の管理・快適制御機能をはじめ、照明のLED化や通信線給電(PoE)による照明制御などのスマート技術も導入されICTを活用した最先端の「スマート・ビル」として生まれ変わりました。



# 会議室管理サービス「ルームコンシェル」とは？

会議室管理サービス「ルームコンシェル」とは.....  
グループウェアに入力された会議室予約情報と連携して、会議室利用の効率化や利便性を高めるクラウド型サービスです。



※ご利用頂く際は、Microsoft Office 365のご契約が別途必要となります。

Microsoft、Microsoft Office 365は、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

## 会議室管理の課題

## 「ルームコンシェル」による課題解決

### Before

- ・予約で埋まっているのに使われていない会議室がある。
- ・このまま会議を延長したい。
- ・適正な会議室はいくつか???



### After

- ・自動キャンセル機能
- ・時間延長機能
- ・利用実績レポート



## 「ルームコンシェル」で 簡単に課題解決

会議室が予約で埋まっているのに、実際は使われていない！  
ユビテックの「ルームコンシェル」は会議室の効率化を実現できます！

これまで各社員の利用に任されていた会議室の運用を、管理者が管理・分析することにより、適正な運用を実施することができるようになります。

## 主な機能①

### 予約機能

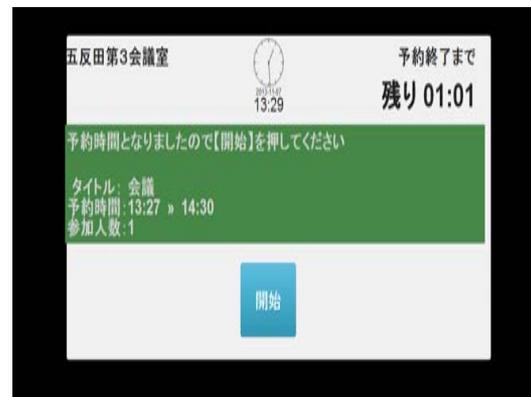
突然の来客時でも、会議室の予約が空いていればその場でiPadから会議室を予約し、利用することができます。



## 主な機能②

### 自動キャンセル機能

人感センサーとの連携により利用状況を自動判別し、予約されている会議室が使われていなかった場合、自動キャンセルされ、他の人が予約できるようになります。



## 主な機能③

### 時間延長機能

会議中に会議室から時間延長を行うことができます。次の予約が入ってる場合は、空いている会議室をお知らせします。





機能	説明
予約機能	突然の来客時でも、会議室の予約が空いていればその場でタブレット端末から会議室を予約し、利用することができます。
自動キャンセル機能	人感センサーとの連携により利用状況を自動判別し、予約されている会議室が使われていなかった場合、自動キャンセルされ、他の人が予約できるようになります。
時間延長機能	会議中に会議室から時間延長を行うことができます。次の予約が入っている場合は、空いている会議室をお知らせします。
利用状況一覧機能	予約状況の一覧を表示することができます。例えば、会議室フロアでスクリーン表示することで来場者全員がすぐに空室を確認できます。
利用実績レポート	利用実績レポートを出力し、総務部門にて適正な会議室の運用を検討することができます。例えば、予約しても未使用だったり、実際より長時間の予約をしていた利用者を事後追跡することで、実績を示して適正な利用を求めることができます。



**オレンジ: 会議室利用中** 利用状況一覧表示  
**青: キャンセル**  
**緑: 予約済**

利用実績レポート

名件	予約開始	予約終了	利用開始	利用終了	状態
五反田第2号会議室	2013-10-05 17:30	2013-10-05 18:00			
五反田第1号会議室	2013-10-05 17:30	2013-10-05 19:00	2013-10-05 17:31	2013-10-05 17:47	予約解除
五反田第1号会議室	2013-10-05 18:30	2013-10-05 19:00			
五反田第1号会議室	2013-10-05 18:00	2013-10-05 18:30			
五反田第3号会議室	2013-10-05 18:00	2013-10-05 18:30	2013-10-05 18:05		
五反田第2号会議室	2013-10-05 17:00	2013-10-05 17:30			自動予約キャンセル
五反田第1号会議室	2013-10-05 16:30	2013-10-05 17:30			自動予約キャンセル
五反田第1号会議室	2013-10-05 16:00	2013-10-05 17:00			予約解除
五反田第1号会議室	2013-10-05 14:30	2013-10-05 15:30			自動予約キャンセル
五反田第2号会議室	2013-10-05 14:30	2013-10-05 15:00			
五反田第2号会議室	2013-10-05 13:30	2013-10-05 14:30	2013-10-05 13:33		
五反田第3号会議室	2013-10-05 10:00	2013-10-05 11:00			

- グループウェアと設備制御を連携してホスピタリティをさらに向上させることができます。
- 利用者は会議室を予約するだけ！ 会議室管理サービスが次のホスピタリティを自動で提供し、節電にも協力します。

## 1) おもてなし機能

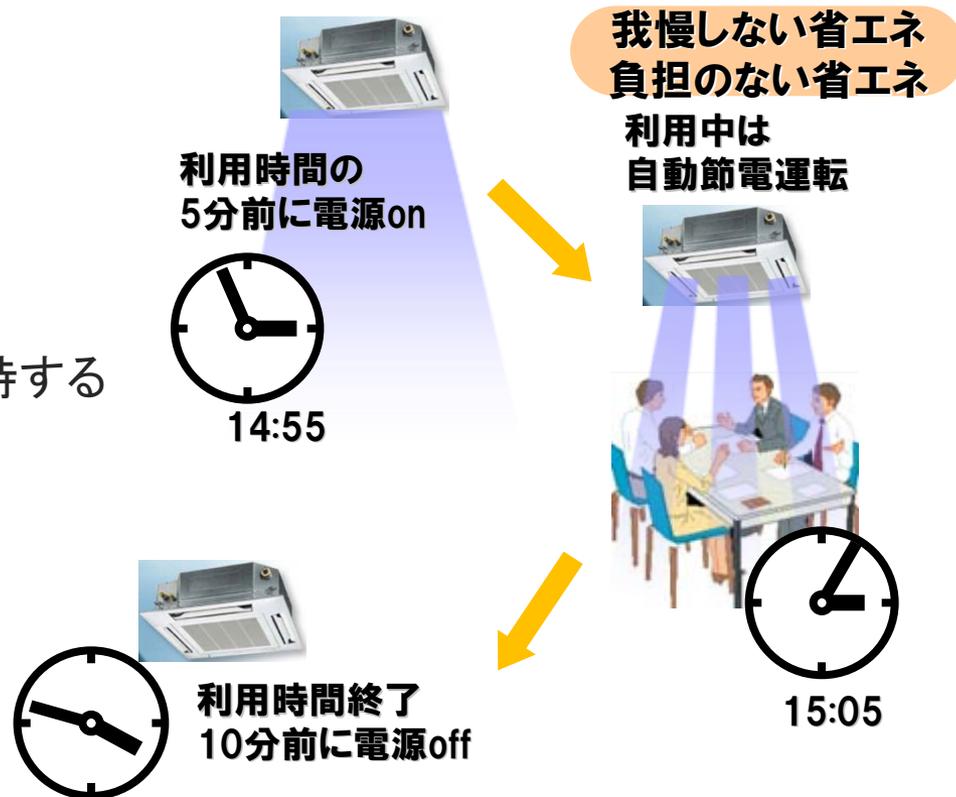
会議予約時間前に自動空調ON

## 2) 自動快適節電機能

会議時間中は、負担のなく快適性を維持する  
自動快適節電で空調を運転

## 3) 消し忘れ防止機能

会議時間終了で空調、照明の自動OFF



ルームコンシェルを導入すると、会議室の利用実態を把握することが出来ます。

UBITEQ ルームコンシェル

システム管理  
 ・利用状況  
 ・予約状況  
 ・レポート  
 ・設定

ルームコンシェル レポート 予約利用 一覧リスト

会議室の予約状況

実際に会議室を利用した実績

csv出力

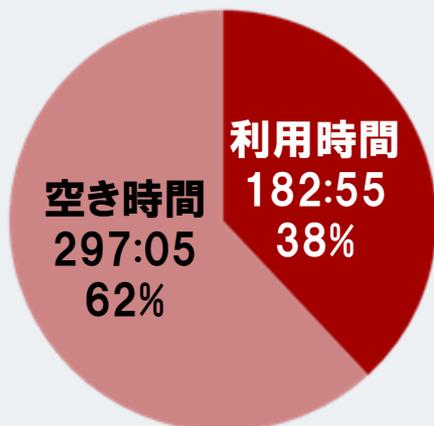
名称	予約日	予約時間	利用日	利用時間	利用状況
五反田第1会議室	2013-12-10 14:05	2013-12-10 14:30	2013-12-10 14:07	2013-12-10 14:22	利用終了
五反田第2会議室	2013-12-10 14:00	2013-12-10 17:00			自動予約キャンセル
五反田第1会議室	2013-12-10 13:00	2013-12-10 14:00	2013-12-10 13:00	2013-12-10 14:00	利用終了
五反田第2会議室	2013-12-10 13:00	2013-12-10 14:00			自動予約キャンセル
五反田第2会議室	2013-12-10 11:00	2013-12-10 11:30	2013-12-10 11:01	2013-12-10 11:25	利用終了
五反田第1会議室	2013-12-10 09:30	2013-12-10 11:30	2013-12-10 09:30	2013-12-10 11:20	利用終了
五反田第3会議室	2013-12-10 09:30	2013-12-10 11:00	2013-12-10 09:30	2013-12-10 10:49	利用終了

## 会議室利用の「見える化」を推進

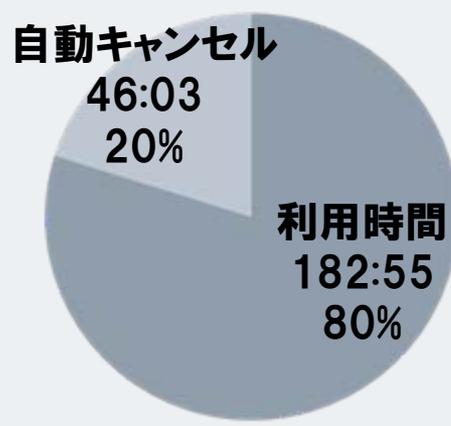
- ・ 本当に不足しているのか？
- ・ 使わないのに予約が残っている。
- ・ 利用時間帯が集中している。

⇒ 情報分析することで、無駄を失くし、効率的な会議室の運用が可能になります。  
 余剰会議室は、新規プロジェクトルーム、ショールーム等、より有効な活用へ。

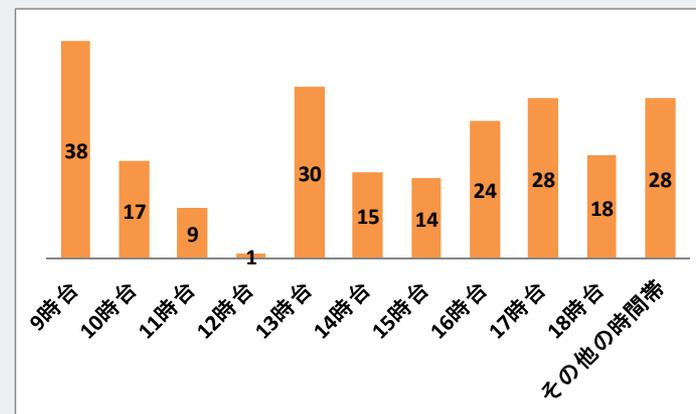
会議室稼働率



無駄予約率



利用が多い時間帯



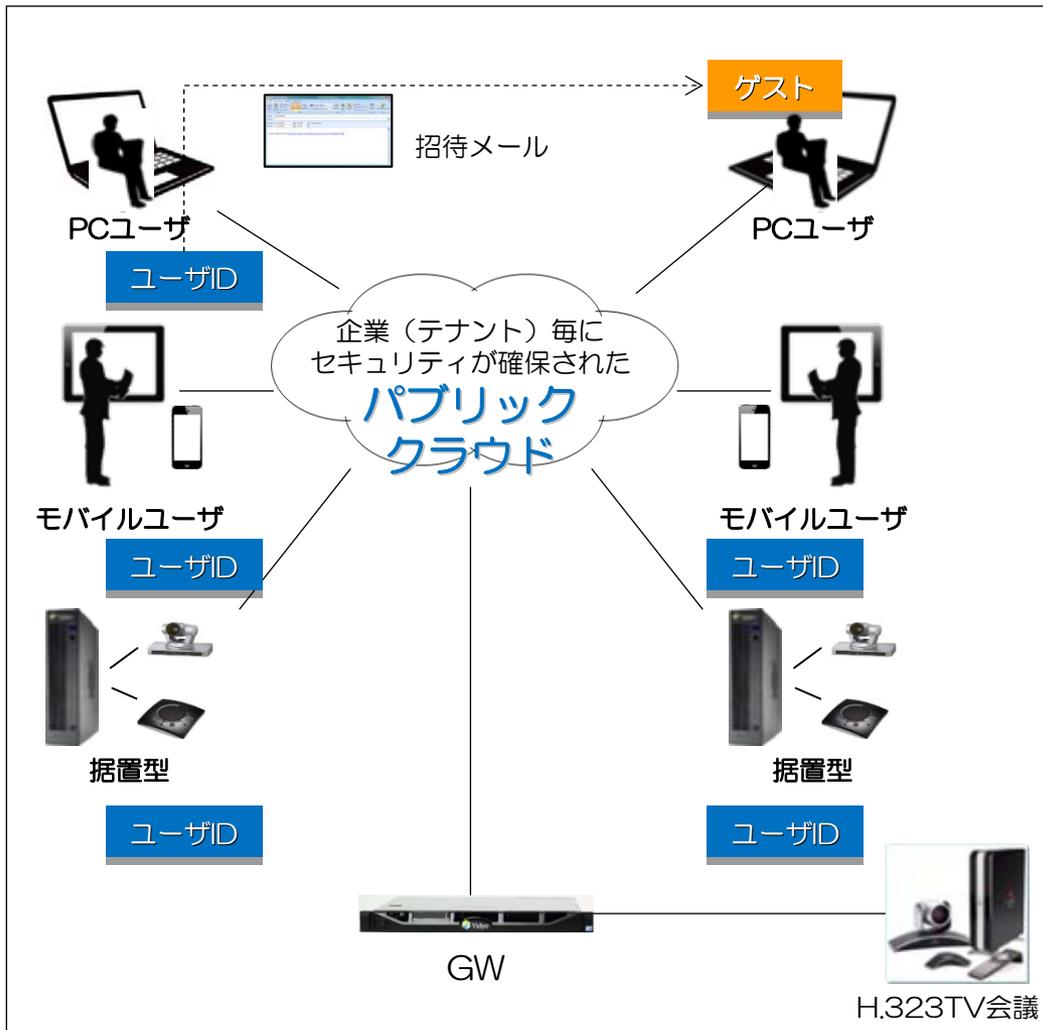
\*上記グラフはすべて、当社会議室の11月の利用実績を元にCSVデータから作成したものです。

# CanSee

Powered by Vidyo

クラウド型ビデオ会議サービス

株式会社ユビテック  
(JASDAQ 6662)



## 1 高品質な映像・音声コミュニケーション

最新の映像符号化「**H.264/SVC**」に対応。映像信号を複数の解像度に複層化し、同時に複数チャンネルで送受信することで、ネットワーク環境や端末環境に応じた乱れない最適な映像・音声の送受信を実現しています。

## 2 国内、海外 場所を問わない利用形態

回線の状況をリアルタイムに把握し、最適化を行い、低速回線でも、他拠点に影響を及ぼさないシステム。  
**NAT/ファイアウォールにも標準対応**し、低コストで幅広いネットワークに対応可能です。（※1）

## 3 ご利用ID数に応じた月額料金プラン

ご利用ID数に応じたシンプルな料金プランをご提供。

## 4 グループウェア連携

MS-Lync等、他社グループウェアとの連携プラグインを提供しています。

## 5 H.323システム連携

H.323方式の従来型TV会議専用機等との連携が可能。既設会議システムへ、容易にモバイル連携が実現できます。

※1 企業内でのご利用等、環境によりましては、ファイアウォールの設定変更等が必要な場合があります。

## 【海外拠点との遠隔会議】

- ・ 出張経費の削減。
- ・ 臨場感のあるビデオ会議が可能。
- ・ 既存システムを有効活用し、追加コストを抑制。

### ○出張経費の削減、タイムリーな会議

アジアをはじめ、中小企業の海外進出が増えてきました。

立ち上がりまでは、頻繁なミーティングが必要ですが、出張経費は抑えたいもの。

ビデオ会議なら、経費の削減とタイムリーな会議が実現できます。

例) 東京～上海 (3日間) 9万～/1回・1人

東京～米国 (5日間) 15万～/1回・1人

### ○高品質なHDビデオ会議

パソコン/モバイル機器を活用して、高品質なHDビデオ会議が可能です。

臨場感のあるビデオ会議ができます。

### ○これまで使用しているTV会議端末との連携も可能。

既存の機器を有効活用しながら、新たな拠点の新設や、タブレット端末の活用等、システム拡張時の追加コストを大幅に抑制します。

拠点



本社  
(会議室)

# Not テレビ会議 ストリーミング

## 【会議場】

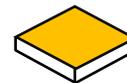


会議場の撮影・スライドの配信



サーバ&クラウド

会議録画・ストリーミング配信



クラウド型ビデオ会議サービス

クラウド型ビデオ会議サービス

PC&モバイルによる遠隔参加

### ○プライベートセミナーの配信

動画像を含んだコンテンツを高画質に配信。

### ○海外の講師が参加する遠隔セミナー（遠隔カンファレンス）

時間・経費を抑え、低コストでセミナーを開催。

### ○ストリーミング配信を活用した遠隔セミナー

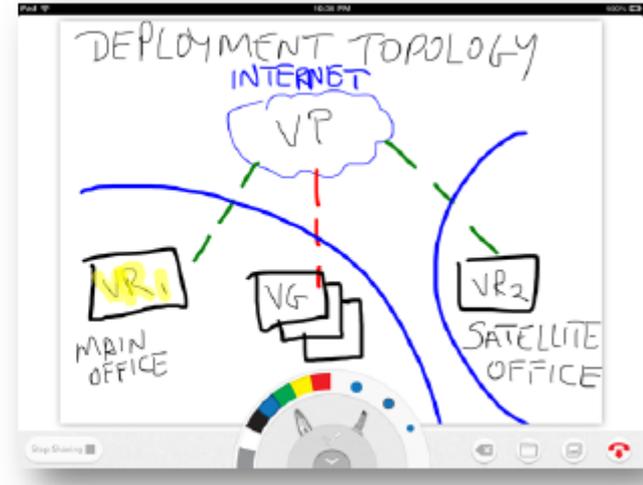
多拠点への同時配信により、遠隔視聴者に対応。



遠隔会場でのストリーミング視聴

# Not 共有 iPadとの連携

VidyoSlateは、iPadからのホワイトボード、資料共有、注釈等の各種機能をご提供するiPad専用アプリになります。



## 機能

- ホワイトボード  
会議の参加者でホワイトボードを共有します。
- 資料共有  
iPadから資料共有を行うことができます。
- 注釈  
共有されたコンテンツに注釈を付加することができます。

## 特長

- 他の参加者が、PCで共有されたコンテンツにも注釈を付加することができます。
- 3Gネットワークでもご利用可能な優れたパフォーマンスをご提供します。
- 描画、ハイライト表示等多彩な注釈機能。
- オンラインストレージからの資料共有もサポート。
- 注釈されたコンテンツは保存、参照、エクスポートが可能です。

## かかりつけ病院



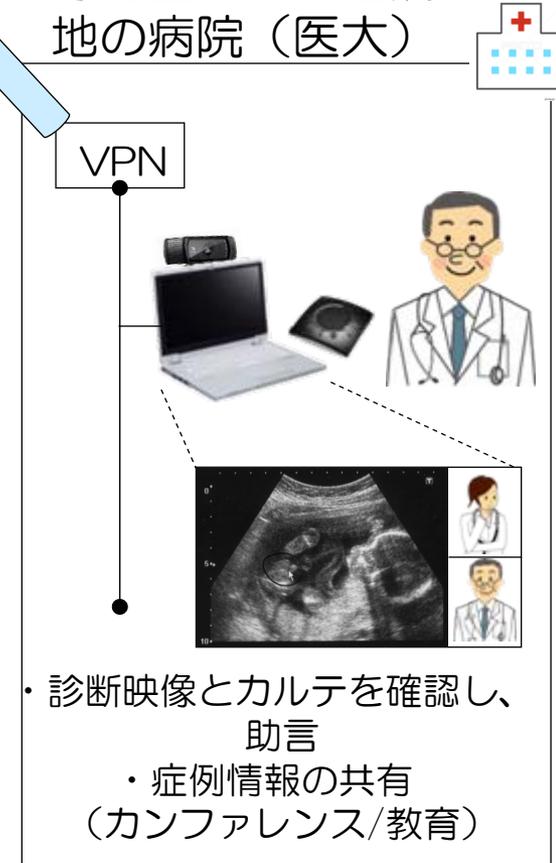
## クラウド

モバイル (3G/LTE)



- ・ 外出先での診断映像の共有も可能

## 専門医のいる遠隔地の病院 (医大)



### CannSeeの特長

モバイル環境でも、秒間最大30フレームの伝送を実現し、超音波動画像のような動きの速い画像伝送にも適しています。

# センシング事業

## ● センシング事業（金融向け端末に組み込まれるセンサユニット開発）

2014年2月、ATM（現金自動預け払い機）分野を中心に金融端末に組み込まれる紙幣鑑別用センサモジュール製品について、製品化ならびに市場投入の加速を目的に村田製作所と共同開発することを合意。



拡大するATMグローバルマーケットにおいて、村田製作所のセンサ技術とユビテックのモジュールユニット化技術という双方の強みを活かした共同開発を実施。

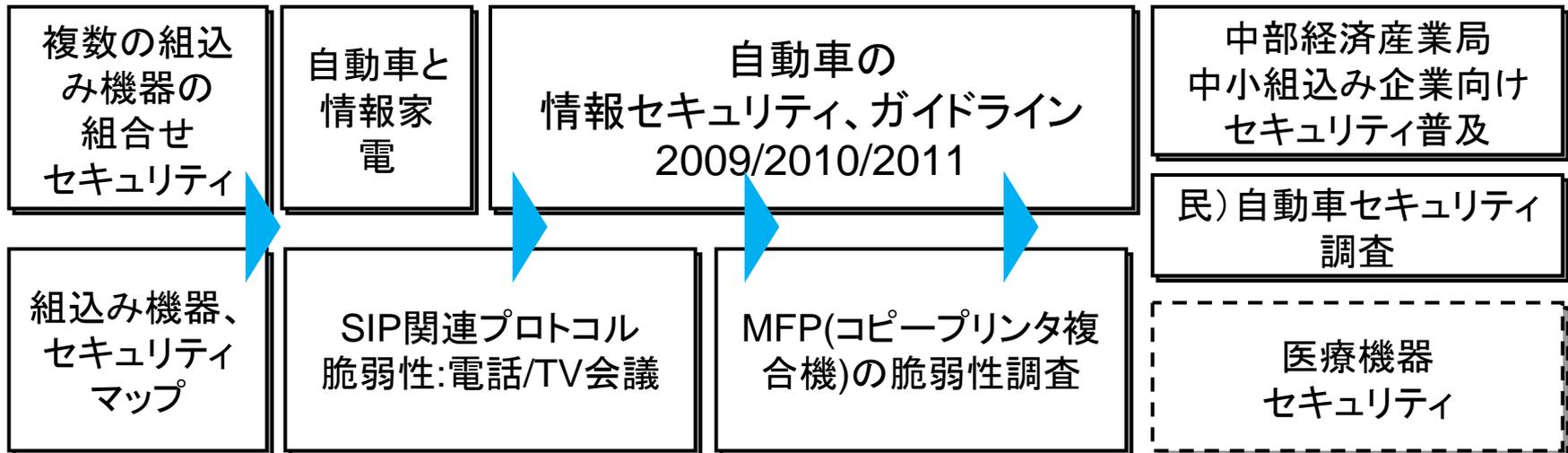


# 組込みセキュリティへの取組み

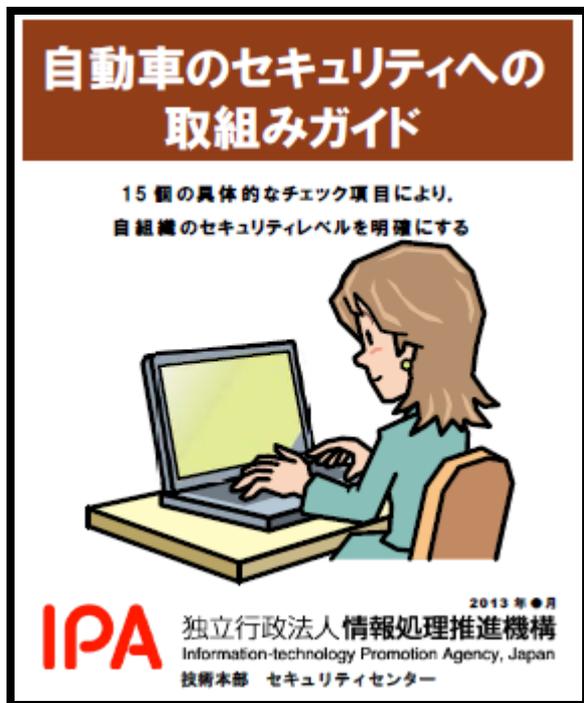
# 組込みセキュリティへの取り組み

- 2006年以降、IPA「情報処理推進機構」の  
組込み機器セキュリティ調査、ガイド作成を受託
- 組込み機器のうち、情報家電、OA機器、自動車について  
取り組み。2013年は医療機器へ

2006-07年



## ガイドの位置づけ



↑ 裏づけ  
自動車セキュリティ報告書  
(2009年～)

自動車  
特化

マージ

### 組込みシステムのセキュリティへの取組みガイド (2009年策定・2010年改訂)

対象	組込みシステム全般
内容	開発時の「組織マネジメント」、企画・開発・運用・廃棄の各フェーズでの「セキュリティの取組み項目」(4レベル)
使い方	組織のセキュリティレベルアセスメントとPDCAによる改善

### 情報家電におけるセキュリティ対策 検討報告書 (2010年策定)

対象	情報家電(特にデジタルテレビ)
内容	システムに存在する脅威とセキュリティ対策の具体的提示
使い方	企画・開発フェーズで搭載するセキュリティ機能の検討・設計の際の参考

「組込みシステムのセキュリティへの取組みガイド」の自動車版  
「情報家電におけるセキュリティ対策検討報告書」脅威・対策分析をマージ

## 事前の防御

リスク評価、対策

セーフティ設計の拡張

乗っ取り、プライバシーなど  
新しい脅威の検討

## 事後の対応

正常状態への復帰

攻撃・侵入の検知  
復帰方法・手順

業界・地域で情報共有  
トレーニング

- 産学連携により、重要生活機器の連携セキュリティを実現
  - 生活空間デバイスの連携
  - ビッグデータ(蓄積)と人の周りのデータ(リアルタイム)の連携
  - ITシステムとライフキットデバイスの連携
    - 機器間、システム間、企業間、etc

## 重要生活機器:

- 自動車、在宅医療機、スマートハウスなど利用者個人の生命や健康、財産のリスクに直結するネット型組込みシステム機器類

## 連携セキュリティ:

- スマホや携帯網を通じてクラウドサービスと連携し、繋がる形で高機能化する組込みシステム自体の機能安全や機能悪用という脅威に対するセキュリティ

## Safety



故障・不具合  
や操作ミス  
からの防御

## Security



悪意のある  
攻撃者から  
の防御

# が対策急務!

# 「自然に出来てしまう、やりたくなる省エネ」

を先進のユビキタス技術で実現する  
新環境ソリューション

わたしたちに来ることをひとつずつ。



**本日は誠にありがとうございました。**

(本資料ならびにIRに関するお問合せ先)

株式会社ユビテック

管理本部 総務課

電話 03-5487-5560 FAX 03-5487-5561

<https://www.ubiteq.co.jp/contact/inquiry2.htm>